

平成30年度第1回高崎市子ども・子育て会議 会議録概要

- 日 時 : 平成30年12月21日(金)午後2時00分～午後3時15分
- 場 所 : 高崎市役所 本庁舎4階 庁議室
- 出席者 : 別紙のとおり
- 傍聴者 : 0人
- 会議に付した案件
 - ・ 高崎市子ども・子育て支援事業計画について
 - ・ ニーズ調査の実施について
- 配付資料
 - ・ 次第
 - ・ 資料1 「高崎市子ども・子育て支援事業計画(平成29年度実績)」
 - ・ 高崎市子育てなんでもセンターについて
 - ・ 高崎市子育てなんでもセンターリーフレット
 - ・ 高崎市子ども・子育て会議委員名簿
 - ・ 高崎市子ども・子育て会議事務局職員名簿
- 事前送付資料
 - ・ 資料2 「ニーズ調査の実施について」
 - ・ 「高崎市子ども・子育て支援施策に関するアンケート調査案(就学前児童用)」
 - ・ 「高崎市子ども・子育て支援施策に関するアンケート調査案(就学児童用)」
- 会議録 : 別紙のとおり

○ 出席者（委員）：１６名

番号	所属団体等	氏名	当日 出欠
１	高崎市区長会 副会長	飯野 茂	欠席
２	認定こども園代表（高崎市保育協議会認定こども園部会長）	石井 博	
３	高崎市保育協議会保護者会 会長	小沼 智広	
４	保育園代表（高崎市保育協議会保育園部会長）	粕川 泰彦	
５	高崎市私立幼稚園・こども園父母の会連合会	木暮 絵里花	
６	日本労働組合総連合会群馬県連合会高崎地域協議会 議長	越澤 恭行	
７	元教育委員長、あすなろ学童クラブ代表	小見 勝栄	
８	高崎市小学校長会 城山小学校長	坂井 康良	
９	幼稚園代表（高崎市私立幼稚園・こども園協会 会計）	坂田 直樹	
１０	公募市民	櫻井 礼子	
１１	高崎市医師会 監事	重田 誠	
１２	高崎市母子等保健推進協議会 副会長	清水 恵美子	
１３	高崎市学童保育連絡協議会 会長	鈴木 宏輝	
１４	高崎市民生委員児童委員協議会 主任児童委員連絡会 会長	高橋 式子	
１５	高崎健康福祉大学 教授	千葉 千恵美	
１６	高崎市心身障害者等連絡協議会 会長	深澤 アサ子	欠席
１７	高崎市ＰＴＡ連合会 常任理事	星野 雅代	
１８	高崎市社会福祉協議会 会長	松橋 亮	
１９	公募市民	宮川 直子	欠席

○ 出席者（事務局職員）：２３名

○ 会議録

1. 開会 (事務局)	定刻となりましたので、ただいまから平成30年度第1回高崎市子ども・子育て会議を開会させていただきます。本日の会議は、現在のところ出席していただいている委員さんが14名となっております。欠席のご連絡をいただいている方が2名となっております。また、2名の委員さんにつきましては、少々遅れる旨のご連絡をいただいております。高崎市子ども・子育て会議条例第6条第2項の開催要件を満たすことのご報告をさせていただきます。また、高崎市情報公開条例第30条の規定に基づき、会議は公開となっておりますので、併せて報告をさせていただきます。なお、高崎市審議会等の会議の公開に関する要綱第6条第2項の規定により、傍聴者による録音、ビデオ等の撮影は禁止しておりますが、報道関係者に限り、写真撮影を許可してあります。それでは、お手元の次第に基づきまして進めさせていただきます。
2. 新委員紹介 (事務局)	はじめに次第2「新委員紹介」でございます。団体の役員の改選等により今年度から新たに委員に推薦された方を子ども・子育て会議の委員に委嘱させていただき、過日、委嘱状を交付させていただきました。なお、委員の任期は、高崎市子ども・子育て会議条例第4条第1項の規定に基づき、前任者の残任期間となっております。 (新委員から自己紹介) どうもありがとうございました。
3. 会長あいさつ (事務局)	それでは、次に進めさせていただきます。次第3「会長あいさつ」でございます。会長からごあいさつを頂戴したいと思います。よろしくお願いいたします。 (会長あいさつ) ありがとうございました。 それでは、議事に入らせていただきます。議事の進行は、高崎市子ども・子育て会議条例第6条第1項により、会長が議長となることになっておりますので、ここからは会長に進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。
(会長)	これより議事の進行を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。 議事に入る前に会議録の署名人の指名をさせていただきます。このことについて、事務局から説明をお願いします。
(事務局)	高崎市子ども・子育て会議運営規則第3条第2項により、「会長は、会議に出席した委員のうちから、会議録署名人1人を指名する」と定められております。
(会長)	ただいま事務局から説明がございましたように、私から指名させていただくことになります。私からは、委員Aをお願いしたいと思います。委員Aには、当会議の会議録が完成しましたら、ご署名をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。
4. 議事1 (会長)	次に議事に入らせていただきたいと思います。まず議事1「高崎市子ども・子育て支援事業計画について」を議題といたします。本計画は、平成27年度から平成31年度ま

	での５年間を計画期間とした計画でございますが、このことについて、事務局から説明をお願いします。 （高崎市子ども・子育て支援事業計画平成２９年度進捗状況について、事務局化Ｓら説明を行った。） 事務局からの説明は終わりました。委員の皆様からご意見やご質問などはございませんか。
（委員Ｂ）	この中の多くの事業で計画を上回っていて良いのですが、例えば地域の子育て支援拠点事業や保育園での一時預かり事業、病後児保育事業等は、かなりのオーバーですよね。実績のほうが計画の数値を上回っていて非常にいいと思いますが、計画自体が少ないのではないかという印象を受けるのですが、その辺りのことはいかがでしょうか。
（事務局）	お答えいたします。前回の計画につきましては、前回のニーズ調査の結果やそれまでの実績等を踏まえて計画の量の見込み及び確保の内容について設定をさせていただいたところでございます。計画と大きく実績が異なる項目もございますので、今後ニーズ調査を実施し、調査結果と各事業の実績を踏まえまして、次期計画にはより実態を踏まえた計画値を設定できるように、またその際には委員の皆様のご意見を承りながら、計画のほうに反映して参りたいと考えております。よろしくお願いいたします。
（委員Ｂ）	そうすると来年度の見込みは、今年度のニーズで変更する可能性はあるということですか。それとも５ヵ年計画は同じでいくということということですか。
（事務局）	今回の計画につきましては、２７年度から３１年度までの計画となっておりますので、現在の計画値との差異の中でご報告をさせていただきまして、次期計画につきまして、より実績等を踏まえた計画の作成についてまたご議論いただきたいと考えております。
（会長）	他にございませんか。 ないようでございますので、ここで議事１「高崎市子ども・子育て支援事業計画について」の協議を終結いたします。
４．議事２ （会長）	次に議事（２）「ニーズ調査の実施について」を議題といたします。このことについて、事務局から説明をお願いします。 （第２期高崎市子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査の概要及び今後予定されているスケジュールについて、事務局から説明を行った。） 事務局からの説明は終わりました。 委員の皆様からご意見やご質問等はございますか。
（委員Ｂ）	事務局側からの説明の中で、４，０００人を対象に調査を行うということですが、最終的な回収率はどのくらいを見込んでいるのでしょうか。 それからもう一つ、お母さんとお父さんの就労状況についてです。昨今の働き方改革な

	どもありますが、労働環境についてとか、お父さんお母さんの有給の状況とかそういった点を盛り込むといいと思います。働いているお父さんお母さんがどのような環境で働いているのか、可能であれば有給はどのくらい取得できているのかとか、労働環境などについて少し入れておいてもよいのではないかと思います。
(事務局)	まず、1点目のご質問の調査の回収率についてですが、概ね50%から60%を想定しております。前回実施をした際は52%程度でしたが、この計画の前の計画にあたります次世代育成支援行動計画を作成した際には、約60%となっております。そういったところから回収率につきましては、概ね50%から60%を想定としているところでございます。 次に、有給の取得状況についてですが、頂いたご意見を参考にさせていただきながら検討してまいりたいと思います。
(委員B)	先程の回収率の件ですけれども、50%とおっしゃっていましたが、就学前児童0から5歳が3,000人で、就学児童1,000人でしたが、就学児童は回収率50%で500人になってしまうので、その辺はいいのかと思ったのですが、いかがですか。
(事務局)	統計上のアンケートを実施する場合の目安というものがございまして、そちらの方の基準を満たした人数で今回は実施をさせていただくところでございます。
(委員B)	回収率が下がってしまうと1年生から3年生までの数が減ってしまうのですが、一般的なアンケートとして統計解析をする分には問題はないと思います。ありがとうございます。
(会長)	他にございませんか。 それでは、ここで議事2「ニーズ調査の実施について」の協議を終結いたします。以上で、本日予定していました議事は終了いたしました。審議の円滑な進行にご協力いただきましてありがとうございました。それでは進行を事務局に戻させていただきます。
(事務局)	議事及び意見交換の進行、ありがとうございました。 続いて次第の5「その他」といたしまして、事務局からご報告させていただきます。高崎市子育てなんでもセンターの利用状況について、お変わりになられた委員さんもいらっしゃいますので、改めましてご報告をさせていただきます。 (子育てなんでもセンターの概要と利用実績について事務局から説明を行った。) 説明は、以上でございますが、この件について何かご質問はございますか。
(委員C)	この子育てなんでもセンターは、機関としてはとても貴重な施設だと思いますので、私自身も利用したいと考えているのですが、直結する駐車場がないということから利用するに至らない方がまだいるのではないかと思います。離れたところに駐車場があって、その駐車料金についてサポートをしますというのは聞いたことがあるのですが、離れたところ

	から例えば親１人で子ども２人を連れて行くといったときに事故だとか諸々見えていない点があると思いますので、駐車場については是非見直していただきたいと思います。
(事務局)	当初、なんでもセンターを開設した時には駐車場について全くご用意はさせていただいていなかったのですが、今年の５月から総合保健センターの駐車場を利用時間に応じて無料で利用いただけるようにしております。ただ、少しセンターから離れてしまっていることから委員さんのようなお声も頂いておりますので、今後利用者の状況も見極めながら検討して参りたいと思っております。ありがとうございます。 他に何かございますでしょうか。
(委員D)	利用者の実績についてですけれども、地域毎や住所でどこに住んでいる方が多いだとかという状況が少しわかりましたら教えていただきたいと思います。
(事務局)	地域毎の状況でございますが、高崎、倉渕、箕郷といった旧町村の区域と市外という形で統計を取らせていただいております。全体の率でいいますと、８割程度は元々の高崎地域の方のご利用となっております。倉渕地域の方は、割合とすると０．いくつという割合になってしまいますが、数名はご利用いただいております。箕郷地域の方が概ね１％、群馬地域の方が約７％、新町地域の方が約１％、榛名地域の方も約１％、吉井地域の方も約１％、また、市外の方が７％程となっております。
(委員E)	高崎市子育てなんでもセンターについてですが、子どもを預けながらいろいろ相談ができるということで非常にいいのかなと思っております。この利用実績のところで、就労相談のところでは、１，７３７人とあって、就職決定者数が７６人とあるのですが、この就労相談というのは再就職相談というのあれば子育てと仕事の両立についての相談ということもあろうかと思うのですが、できることなら就労相談は１，７３７人、内この相談に関してはこの人数ですというふうに分かると、１，７３７人で就職決定者数が７６人というのは数字的にも非常にいいと思いますので、再就職するのにこういうところが利用できるといいですよという見方ができるかなと思いますので、再就職を希望した人が何人いて、その内就職決定者数何人いましたというほうが見え方としてはいいのかなと思いますので、ご検討いただければと思います。よろしくお願いいたします。
(事務局)	貴重なご意見ありがとうございました。そのような形で集計も考えていきたいと思えます。 他にございますか。そうしましたら、子育てなんでもセンター以外のご質問等がございましたら、お願いいたします。
(委員F)	先程決議したので内容を変えるものではないのですが、第二期事業計画のスケジュールの中で、集計を終えて案を作成するどこかのポイントで、子ども・子育て会議による審議なり意見の聴取というのはあるのでしょうか。案を作成する前にどこかで我々の意見の聴取、ポイントを置いていただくとよいかと個人的には思っております。そこを聞き忘れ

	たので、伺いたいと思いました。
(事務局)	計画の策定の段階につきましては、今回ニーズ調査の結果が3月末にまとまる予定ですので、その結果を踏まえ素案等を作成することになりますけれども、一度まずその段階で会議を開催させていただいて、またパブリックコメントの実施や最終計画案を決定する前には、委員さんのご意見を伺って策定準備を進めていきたいと考えております。 他にありますでしょうか。
(委員G)	子育てなんでもセンターのところについての質問です。建物の1階にシルバーセンター、2階が子育てなんでもセンターになっているのですが、ここのシルバーセンターにいらっしゃる高齢者の方々と子ども達ですとか親子の触れ合いですとかそういうのはあるのでしょうか。
(事務局)	例えば、夏の高崎祭りの時になんでもセンターのフロアに、上層階の施設に入られている方が見学にいらして子どもと同じスペースと一緒に過ごしたりですとか、1階のところはシルバーセンターとなっておりますけれども、どなたでもお子さん連れの方でも利用ができますので、そのような形で交流というのは少なからず図られているかと思ひますし、今後そういったことも必要かと思ひますので、何かイベント等があれば考えていきたいと思ひております。 また、現在1階の空きスペースを保育所として整備をしているところでございます。これにより、更に子どもと高齢者の交流というのが進んでいくかと考えております。その保育所につきましては、60人規模の保育所を整備しております。来年の4月にオープンを予定しておりますので、更なる拠点性が高まっていくと考えております。
(委員G)	もう一点よろしいでしょうか。職場が他市町村なのですが、母子手帳アプリというものを最近耳にされていて、予防接種の記録とか健康診断の記録とかそういったものが自治体の方からそろそろ予防接種の時期ですよとかの通知が来ると聞いていて、高崎市はないのかなと思ひて少し聞いてみたかったので質問させていただきました。
(事務局)	今こちらでも検討は始めております。ただ、実際始めるのであれば、実効性のある有効的な方法で実施してまいりたいと考えており、そのことを踏まえ今検討させていただいております。やはり、ご要望はありますので、検討段階ということでお答えさせていただきます。
(委員G)	今、風疹が流行っていますけれども、ワクチンの摂取歴を母親に聞いてもわからないとか、母子手帳も実家中探さないと見つからない状況で、話を聞いた限りだと18歳になるとアプリを母親から子どもに受け継げるという話も聞いていますので、積極的に考えていただければと思ひております。よろしくお願ひいたします。
(事務局)	他にございますでしょうか。

5. 閉会 (事務局)	なければ、以上を持ちまして本日の会議をすべて終了させていただきます。 それでは、これを持ちまして平成30年度第1回高崎市子ども・子育て会議を終了させていただきます。会議を閉会いたします。
------------------------	---